

1. 科目名 (単位数)	メディア社会論 (2単位)	3. 科目番号	EDIT2306
2. 授業担当教員	里吉竜一		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	情報科教諭免許選択科目 (ただし、情報科教員として必須の内容であるの履修することが望ましい。)		
7. 講義概要	近年、若者から高齢者までの多くの人が、スマートフォンや携帯電話などのモバイル機器を使って、電話やインターネットによる情報収集・検索などを行っている。それは、コンピュータやネットワークの技術開発やインフラ整備により、我々の生活スタイルが大きく変わってきていることを示す一例である。本講義では、メディアと社会との関わりについて、具体的な社会現象や研究事例を通して考えていく。		
8. 学習目標	メディアが社会にもたらした影響やメディア技術について理解し、日常生活や今日の情報社会に応用できる知識を身につけることを目標とする。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	教科書の各章を課題として割り当て、発表レジメをまとめて授業で発表及びディスカッションを行うという、アクティブ・ラーニングを通じて実社会で通用する周りの人と協力し合う能力や自ら進んで学ぶ能力を身に付ける。期末レポートは、自分が発表を担当した章以外のテーマについて簡潔に要点を整理し、それらに対する自分の意見を発表して評価します。 ・レポート課題 ・期末レポート (1回)		
10. 教科書・参考書・教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書：辻泉・南田勝也・土橋臣吾『メディア社会論』有斐閣、2022。 副教材：Ryuichi Satoyoshi『Human beings and Generative AI』Kindle Edition Amazon Services International LLC、2024。 ：横溝紳一郎・山田智久『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』くろしお出版、2021。 参考書：講義の中で適宜紹介します 		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 メディアが社会にもたらした影響やメディア技術について理解し、日常生活や今日の情報社会に応用できる知識を身につけることができる。 ○評定の方法 出席状況や授業への取り組み、課題提出、期末レポートにより総合的に評価する。 授業参加 30%、課題 40%、期末レポート 30%		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 正解を事前に設定できない問題を科学的な根拠に基づいて解決し、生涯にわたって自ら学び続けられる素養を身に付けることができます。 Society5.0 と GIGA スクール構想に対応した授業を設計するので各自パーソナルデバイス (スマホかタブレット) を準備してください。 質問はいつでも気軽にしてください。 欠席、遅刻、早退をする場合は連絡してください。 本学規定により 3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認められないので注意してください。 		
13. オフィスアワー	・面談や補講の希望者は事前にメール等で連絡してください。p-rysatoyo@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	春期イントロダクション I 「メディア」、「社会」に関するアンケート、アクティブ・ラーニングについて等を確認して発表テーマ (章) を割り当て春期講義の導入とします。	事前学習	はしがきを読んでおく
		事後学習	発表レジメの書き方や発表の方法等について理解した上で、自分の担当章の読解、資料収集、レジメ作成や発表準備を始める
第2回	調査発表・ディスカッション (1) 第1章 メディア社会論のために	事前学習	教科書 pp.1~15 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第3回	調査発表・ディスカッション (2) 第2章 ネットワーク化の来歴	事前学習	教科書 pp.19~35 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第4回	調査発表・ディスカッション (3) 第3章 モバイルデバイスの来歴	事前学習	教科書 pp.38~54 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第5回	調査発表・ディスカッション (4) 第4章 コンテンツ・メディアの来歴	事前学習	教科書 pp.56~71 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第6回	調査発表・ディスカッション (5) 第5章 マス・メディアがつかない近代	事前学習	教科書 pp.75~92 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる

第7回	調査発表・ディスカッション(6) 第6章 デジタル・コンテンツの功罪	事前学習	教科書 pp.93～111 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第8回	調査発表・ディスカッション(7) 第7章 ネット広告の功罪	事前学習	教科書 pp.113～129 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第9回	調査発表・ディスカッション(8) 第8章 ユビキタス/ビッグデータの功罪	事前学習	教科書 pp.132～147 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第10回	調査発表・ディスカッション(9) 第9章 変わりゆくリアリティ	事前学習	教科書 pp.151～170 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第11回	調査発表・ディスカッション(10) 第10章 変わりゆくコンテンツ	事前学習	教科書 pp.171～187 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第12回	調査発表・ディスカッション(11) 第11章 変わりゆくテクノロジー	事前学習	教科書 pp.189～205 を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる
第13回	期末レポート作成・提出 これまでに学習したことを活用して期末レポートを作成するために、「テーマ」「作成条件」「評価規準」を確認して評価方法、評価システム、教育的価値等を講義します。	事前学習	これまでの授業内容を復習しておく
		事後学習	諸条件を確認して期末レポートを提出する
第14回	期末レポート発表 所定の場所に期末レポートを提出して自己評価及び相互評価を実施します。	事前学習	前回の授業内容の復習をしておく
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える
第15回	総合演習：自己評価と相互評価 学生自身が他者の期末レポートを評価するのと同じように客観的に自己の期末レポートも評価する教育的価値を習得します。自己の内面に向かう自己教育力の醸成を目的とします。	事前学習	期末レポートを客観的に評価する意義を考えておく
		事後学習	どうしたら客観的な自己評価ができるようになるかについての考察をさらに深める